

福音の園だより

【第4号 二〇〇五年四月十日発行】

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

Fax 049・230・1112

「家族の声」

笑っている母に会えるのが嬉しくて

私を知る母は、とても働き者で、何があっても仕事をするとする人でした。仕事が趣味といつてもいいくらいでした。その為、認知症という病気により、働くということに支障をきたすようになると、自分自身どうしたらいいのか試行錯誤を繰り返し、時には回りの人たちと衝突するようなことにもなり、何をしたらいいのか？ 何をすべきか途方にくれている状態が続き、涙することも度々でした。

そんな時、住み込みで働かせてもらえる（母は信じていました）というグループホームさんが見つかりお世話になることになりました。そこでもまた、ゆつくりとした時間を持つということができずに過ぎてきました。半年前、自宅の近くに福音の園さんができるのを新聞の折り込み広告で知り訪問してみると、環境の良さ、ホームの暖かい空気に感動し、母を引っ越しさせることにしました。引っ越すということに多少の不安もありましたが、スタッフの方々の手厚い応対によってスムーズに運びました。そして、五ヶ月が経ち、何よりなのは、母がゆつくりとした時間を過ごすことができるようになってきたことです。娘の私には、入

居者さんと楽しく過ごし、笑っている母に会えるのが嬉しく、その笑顔に力づけられる思いです。

母にはこれからの人生を楽しみたいことができるように、そして、いつまでもその笑顔が続くことを信じています。福音の園の皆様、宜しくお願いします。そして、ありがとうございます。（R・I）

介護支援専門員の声

七年来の独り暮らしから

居宅介護支援事業所 ぼぶらの樹 入江 さゆり

〇様は、七年来の独り暮らしで、近隣に住む長女様が家庭内の手助けをしてくれていましたが、昨年中頃急死されました。悲しみも深く、物忘れや不安による勘違いなどが極端に増え、一日に何十回も電話を掛け続け、夜間にも警察署や民生委員様にも電話をするようになり、「一人で居るとおかしくなる」などの発言も聞かれるようになりました。その矢先、福音の園様から、近隣の方の緊急事態ですから何とか対応しましょうとのご配慮から入居させていただくことができました。ご本人のためにも心から良かったと思っています。ありがとうございます。

愛され、信頼され、信じること

ホーム長 杉澤 卓巳

社会福祉を学ぶとき、必ず聞かされることの一つに「マズローの八つの欲求」があります。すべての人は人間としての八つの欲求を秘めているという。

「一、食べること 二、排泄すること 三、呼吸すること 四、眠ること 五、清潔であること 六、愛されること 七、信頼されること 八、信じること」

一から五までの肉体的な欲求は、快適な住環境・こまやかな身体のケア・美味しい食事などによってほぼ満たされます。ところが、愛されること・信頼されること・信じることは、働くスタッフの資質に大きく左右されます。よく言われる「介護の質」とはここにカギがあるのだと思えてなりません。すべての人は、愛され、信頼され、信じることによって初めて満たされ、慰めを得ることができるのです。

「2月17日 6時9分29秒・同時14分54秒・同時51分18秒」 「3月10日 15時57分25秒・16時16分51秒・同時20分9秒・同時21分50秒・同時27分25秒・同時45分47秒」

これは、先月入居された〇さんの元に届いたNTT通話明細内訳の「通話開始時刻」です。朝、お目覚めと同時に、他県在住長男氏宅へ三回通話。午後、デイサービス利用後、帰宅と同時に、デイサービス事務室へ六回通話。独り暮らしの〇さんを襲う言い知れない不安がそのまま通話記録となって記載されたのでした。そんな〇さんも入居後、数日して落ち着かれました。そして、何よりも心配していた「電話を掛けたい」という申し出が皆無となりました。

「心に触れる優しい支援の実践」「希望への支援の実践」という運営理念を、人間としての最大の欲求である「愛されること・信頼されること・信じること」を、利用者の皆様お一人おひとりが体感できるように、時には抱擁し、スタッフ全員で実現したいと祈り願っています。

園芸活動報告

先月、園芸サポーターの協力により、花菜園の一角にジャガイモ種植えをしました。

「メークイン、シンシア、ジャガキッズパープル」の三品種を利用者さん総出で植えました。初めて鋤を手にした方、手馴れた方など。収穫が楽しみです。